

2026年6月11日  
サカタインクス株式会社

## パッケージ向け材料メーカーとして国内初となる DFC(食品直接接触)対応設備の導入決定

サカタインクス株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役 社長執行役員:上野 吉昭、証券コード:4633)は、食品への直接接触が可能なパッケージ向けコーティング剤製造設備(DFC 対応設備<sup>\*1</sup>)を、東京工場(千葉県野田市)に導入することを決定しました。本設備は 2026 年 8 月の完成を目指してすでに建設を開始しており、食品包装分野における安全性・信頼性のさらなる向上を目的として導入するものであり、パッケージ用途の材料メーカーとして国内初<sup>\*2</sup>の DFC 対応生産設備となる見込みです。

### 【設備導入の背景】

当社グループはパッケージの高付加価値化に貢献するコーティング剤のグローバル展開に注力しており、一昨年にはアメリカのコーティング剤メーカーである C&A 社を買収するなど、取り組みを加速させています。その一環として、今回、国内でのコーティング剤事業の強化を進めるべく、DFC 対応設備の導入を決定しました。

紙コップやバーガーラップなど、食品に直接接触するパッケージを製造する企業においては、食品衛生法により衛生的な環境での製造が義務付けられています。一方で、それらパッケージに使用される材料(紙やコーティング剤など)を供給する材料メーカーに対しては、現時点で規制対象とはされていません。しかし、食品の安心・安全に対する社会的要請の高まりを背景に、将来的には材料メーカーに対しても、より衛生的な環境での製造が必要になると見込まれています。こうした流れを見据え、当社は先行して DFC 対応設備を導入することで、食品包装分野における安全性・信頼性のさらなる向上に貢献する体制を構築します。

### 【生産内容】

本設備では、まずは昨今期待が高まっている、当社が開発した「PFAS フリー耐油剤」を生産するとともに、撥水剤や防湿剤をはじめとしたパッケージ用途向け各種コーティング剤の生産にも対応していく予定です。また、本設備の稼働により広がる生産体制を活かし、受託製造の受け入れについて検討してまいります。この設備導入により、お客様に以下のような価値を提供してまいります。

- ・食品に直接接触するパッケージに適した、より高い衛生管理水準での材料供給
- ・食品包装分野における、安心・信頼性を重視した材料の提供
- ・将来的な規制強化を見据えた、先進的な供給体制の確立

### 【今後の展望】

当社グループ子会社の米国・ホームウッド工場において、すでに DFC 対応設備の運用実績を有しており、食品直接接触用途における材料供給の知見と経験を蓄積してきました。また、今回導入する設備は、ISO22000 の認証取得に向けた取り組みも進めており、国際基準に適合した品質・安全管理体制の確立を目指しています。

今回の東京工場への設備導入を起点に、今後は日本国内での事業拡大に加え、市場が拡大するアジア圏など海外拠点での生産展開も視野に入れ、グローバルな供給体制の強化を検討してまいります。

当社は今後も、食品包装分野における安全性・環境配慮・品質向上に貢献する製品・サービスの提供を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

- ※1 DFC:Direct Food Contact (食品直接接触)
- ※2 当社調べ(パッケージ用途材料メーカーとして)



設備導入する東京工場(千葉県野田市)



食品接触対応コーティング剤を塗工したパッケージ

### サカタインクス株式会社について

サカタインクスは 1896 年に創業し、アジア、米州、欧州など世界の 20 を超える国と地域に展開する印刷インキ販売で世界第 3 位の化学メーカーです。各種パッケージや飲料缶、情報メディア媒体などに使用される印刷インキ、デジタルプリンティング向けの産業用インクジェットインキ、液晶ディスプレイ用画像表示材料などの製造・販売を行っています。「ビジュアル・コミュニケーション・テクノロジーの創造」をビジネステーマとし、環境に配慮したサステナブル製品を通じて、「人々の暮らしを快適にする情報文化の創造」を目指し、新規分野への挑戦も続けています。( <https://www.inx.co.jp/> )

#### お問い合わせ

- 【報道機関窓口】 コーポレートコミュニケーション部 田中、細川 Tel 03 (5689) 6601
- 【お客様窓口】 紙・パッケージ事業部 東京営業部 金谷 Tel 04 (7127) 2231
- 【お問い合わせフォーム】 <https://www.inx.co.jp/contact/>